

3月26日
ちばが変わる日

集団的自衛権行使に道をひらく安保法制＝戦争法は「合憲」という現知事。

平和か、戦争への道か、政治の根本問題で、国にはっきりノーと言える知事こそ求められています。

オスプレイの整備拠点化



重大事故が相次ぐ米軍オスプレイの定期整備が木更津駐屯地で1月から開始。

米軍がパラシュート訓練

習志野演習場では陸自第一空挺団と沖縄米海兵隊(グリーンベレー)が共同演習を実施。



成田空港の軍事利用

「駆け付け警護」の新任務が付与された自衛隊南スーダンPKO派遣部隊が成田空港を軍事利用。

暮らしの財源は、予算の組み替えと、巨大開発見直し、税金の集め方を変えてつくります



©カクサン部!

- ①千葉県の予算総額は1兆6297億円。千葉市を除く53市町村の予算に匹敵。暮らし・福祉・教育優先に組み替えます。
- ②必要のない八ツ場ダムや北千葉道路等の巨大大路に湯水のように税金を投入。県内財界の要求です。大型開発への見直しが必要です。
- ③県内大企業への法律で可能な法人税超過課税で『168億円』税収が生まれます。8都府県で実施。

3 絶対に戦争に協力しない千葉県に

「国いいなり」でなく、3つの転換をくらしと福祉守る知事を

日本共産党

1 県政に“福祉の心”を取り戻します

県立袖ヶ浦福祉センターの入所者が職員に暴行を受け死亡。県営住宅では家賃滞納による強制退去で母子心中など福祉の現場で命が奪われています。きちんと寄り添ってあげば助けられた命です。

千葉の基幹産業である農業予算は8年間で半減し、出荷額も2位から4位へ転落。一商店街当たりの予算はタツタ6万円。

くらし福祉優先の県政、中小企業や農水業を応援し、地域経済の活性化を図ります。



- ◆年金で入れる特養ホームの増設を
- ◆「住宅リフォーム助成制度」創設を
- ◆価格・所得補償で、安心して再生産できる営農支援を



- ◆県の医療費助成を中学3年まで拡大し、市町村との協力で高卒まで無料にします。
- ◆国保料(税)を1世帯1万円引き下げます。
- ◆認可保育所の増設で待機児の解消と、保育士の処遇を改善します。
- ◆公共事業は通学路の安全対策など生活密着型に替え、学校のトイレ改修やエアコン設置など、県内業者の仕事確保と雇用の拡大を図ります。
- ◆学校給食に地元食材の活用など、地産地消を促進します。
- ◆地域の自然エネルギー産業などを育成し、雇用拡大を図ります。

2 「子どもの貧困」克服を県政の軸に

安倍首相と同じように、侵略戦争の事実を認めない現職知事のもと、歴史教科書採択への圧力・介入がくり返される一方、学費負担軽減、校舎の老朽化対策など、学ぶ環境をきちんと整備するという本来の仕事はおろそかです。県がおこなう民間委託事業でも最低賃金ギリギリという仕事が少なくありません。これでは貧困の連鎖は断ち切れません。子どもの貧困を克服する――これを県政の軸に転換します。

- 学校給食費ゼロをめざし、市町村と力をあわせませす。
- 県独自の給付制奨学金を創設します。



- 私立学校の「施設整備費」負担ゼロをめざし、財政支援をおこないます。
- 県独自の中小企業支援をおこない、時給1000円以上をめざします。
- 人間らしく働けるルールを確立し、ブラックバイトをなくします。

憲法が生まれる 平和と暮らし 第一の千葉に